

国道 361 号権兵衛峠道路災害復旧技術検討委員会 第 3 回委員会

1. 日 時：令和元年 12 月 16 日(月) 13:00～14:50

2. 場 所：長野県伊那合同庁舎内 会議室

3. 出席委員：

○板橋 一雄 名城大学社会基盤デザイン工学科 教授

七澤 利明 国土技術政策総合研究所 構造・基礎研究室 室長

石垣 政彦 国土交通省中部地方整備局 道路部 道路保全企画官

* 米倉 剛 長野県木曾建設事務所 事務所長

尾出 清 国土交通省 飯田国道事務所 事務所長

※敬称略 ○は委員長 *は今回より参加

4. 議 事：

(1) 仮復旧工事の進捗報告について

(2) 本復旧工法について

5. 議事概要：

別添のとおり

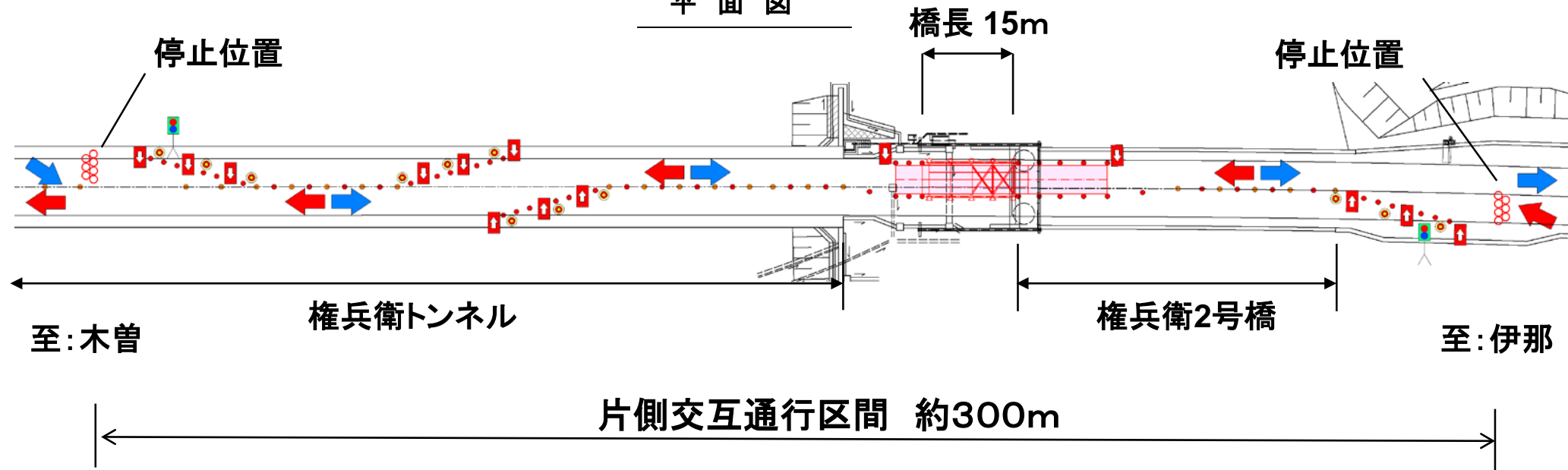
国道 361 号権兵衛峠道路災害復旧技術検討委員会（第 3 回）

【委員会概要】

1. 仮復旧工事の進捗状況について報告し、以下の方針となった。
 - 1) 片側交互交通における通行止め解除について
 - ①仮橋等の工事の完了の目処が立ち、12月19日（木）17時に片側交互通行による通行開始予定。
 - ②構造が特殊なため一般的制限値を超える車両は事前に通行の確認が必要。
 - ③本復旧完了までの間、連続雨量 60mm に達した場合、木曾側：国道 19 号神谷入口交差点～伊那側：権兵衛道路伊那側チェーン着脱所の間において事前通行規制を実施。
 - ④本復旧工事等の実施に伴い通行止めを実施する場合がある。
 - 2) 水抜きボーリングについて
 - ①水抜きボーリングによる排水を実施（最大で約 150L/分）したことにより崩壊部からの湧水が大幅に減少し地山の安全性が向上したと考えられる。
2. 本復旧の設計について案を説明し、以下の方針となった。
 - ① 本復旧工法の概要は別紙のとおり。
 - ② 本復旧の設計定数等を確認するためボーリング調査等を引き続き実施。
 - ③ 本復旧の設計に基づき、工事発注手続きを進める。

◆片側交互通行のイメージ

平面図

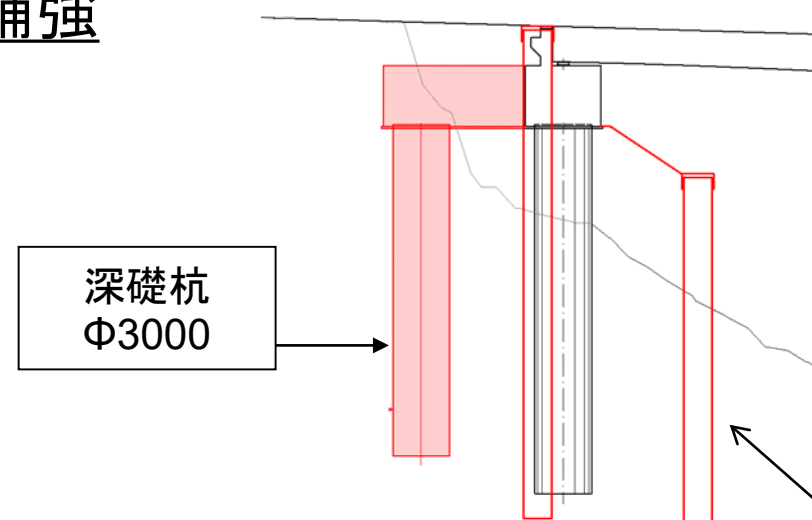


◆片側交互通行における交通運用

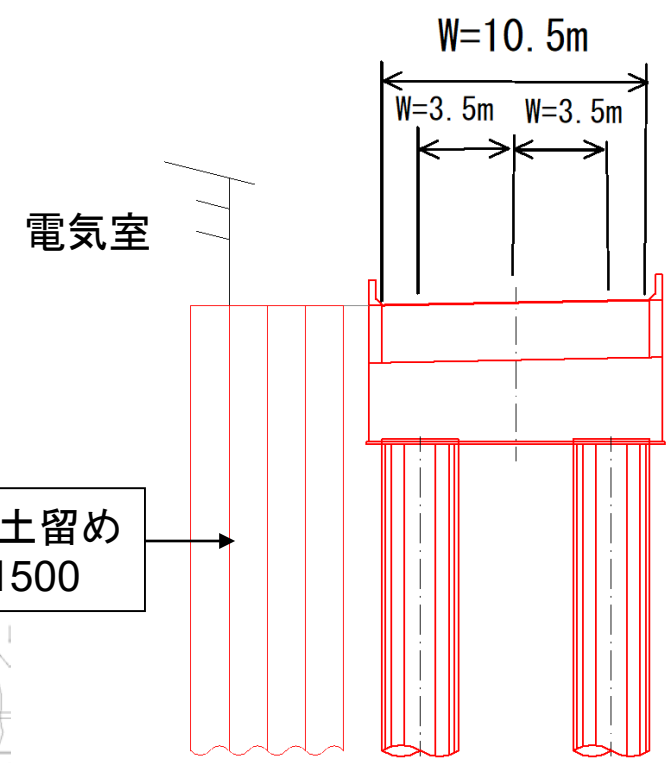
- ① 幅3m以下、重さ25t以下、高さ4.7m以下
- ② 徐行にて走行(工事規制区間内のため)
- ③ 暫定雨量規制 連続雨量で60mm(災害発生時の経験雨量)

◆橋梁補強

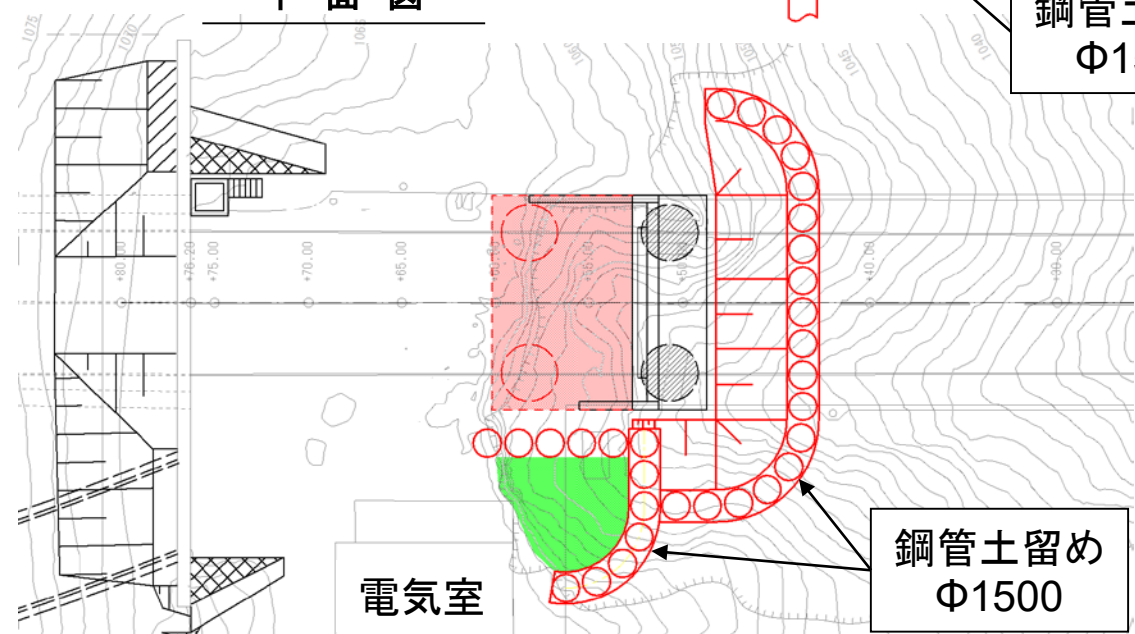
側面図



断面図



平面図



権兵衛トンネル

SHIMITOMO

KMD-1.5 25 KMD-1.5 25 KMD-1.5 25

国交省

交省

国

